

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド「新丸子ナーサリー」	種別：認可保育所
代表者氏名：多賀 奈美江	定員（利用人数）：60名（52名）
所在地：川崎市中原区小杉町2-197-9 first place kosugi	
TEL：044-722-8280	ホームページ： <a href="https://www.starchild.jp/nursery/shinmaruko/">https://www.starchild.jp/nursery/shinmaruko/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員：14名 非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称）施設長：1名 保育士：13名
	栄養士：1名 調理員：3名
	事務員：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 6室
	（設備等） 保育室、事務室、調理室、職員休憩室、屋上遊戯場など

③理念・基本方針

<p>&lt;運営理念&gt; かかわるすべての人が子育ての楽しさ、喜び、感動を共有できる保育施設を運営します。</p> <p>&lt;保育理念&gt; 子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引出し、伸ばす保育を実践します。</p> <p>&lt;基本方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・良く考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します。）</li><li>・個性豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします。）</li><li>・やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身に付けます。）</li></ul>
--

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>新丸子駅より8分、武蔵小杉駅より10分の閑静な住宅街のマンションの1階にあります。</p> <p>園内は「四季彩」をコンセプトに春夏秋冬が感じられるようになっています。屋上園庭には専用エレベーターがあります。</p> <p>保育は養護と教育を一体的に展開し安心して過ごせるよう環境を整えています。</p> <p>幼児クラスは、スターチャイルドオリジナルドリル・専門講師による体操教室やネイティブ英語教室・年長児就学準備教室を実施しています。</p> <p>保護者向けアプリを導入し、乳児の連絡帳や全クラスのドキュメンテーションを毎日配信しています。</p>
---

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月2日（契約日） ～ 2024年3月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

## ⑥総評

### ◇特長や今後期待される点

#### ◆子どもたちは保育士に見守られ、基本的な生活習慣を身に付け、安心して園生活を送っています

どのクラスも子どもたちが手洗いや排泄、着替えなどを自分たちで行いやすい動線が考えられ、環境が整えられています。また自分たちでやろうとする気持ちを大事にするためにデイリープログラムに余裕をもたせて、子どもたちのやりたくなる気持ちを保育士は見守る時間を作っています。まだつかまり立ちの0歳児でも入室したら手を洗うことが習慣として身につけています。外遊びではなかったため、「今日は洗わなくていいわよ。」の言葉掛けにすぐに室内の遊びに移る子どももいれば、手を洗う、としぐさで主張する子どもがいて「洗いたいのね、いつも洗っているものね」と保育士は子どもの気持ちに寄り添い、手洗いをしてから遊びに移る場面がありました。着替えの場面でも食事の場面でもやりたい気持ち、今日は手伝ってほしい気持ち、それぞれに保育士は寄り添っているため、子どもたちは無理なく基本的な生活習慣を身につけ、年齢に応じて見通しを持った生活を送るようになり、どの年齢の子どもも安心して園生活を送っています。

#### ◆園は保育の質の向上に向けて独自の取組を行っています

開園間もない園ですが、職員は明るく元気にそれぞれの経験を活かし、子どもを引き付ける「魔法の言葉」を工夫し、保育の引き出しを増やすよう努めて日々の保育にあたっています。施設長は法人が作ったマニュアルを基に、職員の意見も取り入れながら、この園ならではの取組を記載した「新丸子マニュアル」を作成しています。年間を通して、職員はたくさんあるマニュアルを読み合わせをして、見直すところはないか確認し、標準的な実施方法や緊急時の対応など、各種マニュアルを自分のものにしていきます。また、法人が決めた人事考課の面談以外に施設長と職員は個人面談を行い、職員それぞれに研修計画を立て、研修に参加できるよう職場体制を整えています。職員は面談を通じて目標や課題についてアドバイスを受けて、知識や技術を得るために研修に参加したりするなど、保育の質の向上に向けた取組を積極的に行っています。

#### ◆地域に向けて子育て支援や災害に備えた取組が期待されます

子どもたちは散歩時に近隣の方に元気に挨拶をしたり、地域ボランティアの方と協力して公園の花壇の世話をしたり、公園のゴミ拾いを行ったりして、地域とつながりがあります。また、「あそぼう会」として育児相談、育児講座、交流保育、屋上園庭開放を企画していますが、開園間もない園のため、参加は少ない状況にあります。今後は地域住民との交流会や会合を通して広く園の存在を知ってもらい、地域の福祉ニーズを把握するとともに、災害時のお互いの安心・安全のために必要な取組を進めていくことが期待されます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

スターチャイルド《新丸子ナーサリー》は、開園3年目を迎え、2024年2月に第三者評価を受審することとなりました。受審するにあたり、保護者の皆様には、お忙しい中アンケートのご協力をいただき心より感謝申し上げます。今後も友好的なコミュニケーションが維持できますよう努めてまいります。

当園は、コロナ禍に開園し、オープンスペースの保育室の環境下で、職員ができる最大限の努力をしております。その中で、評価できる点と今後の課題として取り組むべき点が明確になりました。

評価の高い点については、今後もさらに推進してまいります。課題となった点につ

いては、ミーティングや勉強会を重ね、改善を図りつつ「質の高い保育」への理解を深めてまいります。

また、今年度より地域子育て支援活動がスタートいたしましたので、今後は地域の方との交流や協力体制を整えていきたいと思っております。

この度は、調査員の方々には様々な助言をいただきました。保育士全員が初めての受審であり、大変貴重な機会となりました。多くの学びをいただいたことを心より御礼申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり